

「近所の田舎」

自然と仲良く 人と仲良く

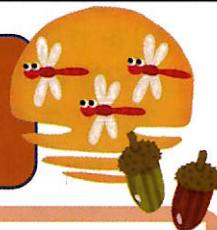
うわくわく わやぬま 通信

第5号 2024年10月発行

上谷沼周辺の自然を守る会
事務局：090-2540-3825



秋の上谷沼に出かけてみませんか？！



すっかり秋になりました。澄み切った青空の中、時には散策の足を止め、まわりの草原をじっくり見てみませんか。小さな虫たちが見つかるでしょう。虫たちは、冬が来る前に、それぞれの命をつないでいくために一生懸命に生きています。

オオカマキリ
葉の上で、ハチやア
ブを待ち伏せしてい
るよ！



トノサマバッタ
飛行力は抜群で、道
端にでていることが
あるんだ！



ツクムシ
葉の上において、近づ
くとパッと飛びだす
よ！



ノシメトンボ
樹木の小枝やロー
プに止まっている
ことが多いよ！



外来植物 市民の挑戦 管理の“はて？”

日本のヨシ原 ボランティアで守るぞ！

7月から9月にかけて、外来植物抜き「朝活」「夕活」を11回実施しました。

上谷沼調節池に残るヨシ原は日本の原風景であり、湿地の生き物のすみかです。この自然環境を守るため、小学生から大人までがヨシ原に侵入しているアレチウリ、オオブタクサなどを抜き取りました。外来生物法に基づく社会活動であり、自然生態系への影響も実践を通して理解いただきました。企業のCSR(社会貢献活動)を含め、延べ201名の参加、そして11,933円のカンパをいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



ヨシの上を覆っている外来植物を抜き取ろう！

セイバンモロコシ 手つかず

一方、夏から秋にかけ、背の高い地中海原産のセイバンモロコシという多年草が大繁茂しています。在来植物が生育する隙間もないほど広がって、もはやボランティアで抜き取るどころではありません。管理道路両側に続く繁茂は、視界も妨げられ、通行するにも圧倒されてしまいます。

行政に外来植物対策を兼ねた草刈りをお願いしているのですが、「治水のための草刈りであり、自然環境を守るために草を刈ることができない」と言う管理者。予算の中で、草刈り時期や頻度を検討するなど、環境部局と治水部局との連携をもっと進めていただきたいなあ…とボランティア活動をしながらかえるのです。

外来植物セイバンモロコシが土手いっぱいに広がり、日本の野草が生える場所が少なくなっています。

